

第103回 関西画像研究会案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今回の関西画像研究会では「線量計算ソフト」をテーマに開催いたします。

2015年6月に本邦初の診断参考レベル DRLs 2015 が発表され、各施設においてもいろいろな検討が始まっているところだと思います。しかし、自施設での一般撮影の入射表面線量を実測する事はなかなか難しく、線量計算ソフトを用いて算出するところが多いと思います。

そこで線量計算ソフトの「SDEC」を開発された藤田保健衛生大学の加藤秀起先生をお招きして計算ソフトについて詳しくお話しいただきます。

また一般発表で3施設のDRLs2015への取り組みもお話しいただきます。話題の内容となっておりますので多くの方に楽しんで頂けると幸いです。皆さんお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしています。

=====

日 時：2016年 2月 20日（土）14時～17時まで

会 場：大阪市立大学医学部附属病院内 18階 会議室

参加費：1,000円

【プログラム】

14:00～15:20

「診断X線の患者入射表面線量計算ソフト SDEC の紹介」

加藤 秀起 先生（藤田保健衛生大学 医療科学部 放射線学科）

15:30～17:00

一般発表

- ① 「診断参考レベル2015（DRLs2015）の概要と星ヶ丘医療センターの現状について」
青木 和好 先生（JCHO 星ヶ丘医療センター）
- ② 「一般撮影における診断参考レベル（DRLs2015）と当院の入射表面線量の比較」
阪井 裕治 先生（大阪市立大学医学部附属病院）
- ③ 「一般撮影の診断参考レベル(DRLs 2015)に関する当院での取り組み」
坂元 彩乃 先生（大阪府立成人病センター）

=====

お問い合わせ 大阪市大病院、岸本

kishimoto@msic.med.osaka-cu.ac.jp